平成30年産水稲の10 a 当たり平年収量(案) (ふるい目幅1.70ミリ基準ベース)

平成30年3月 統 計 部

- 1 全国値 532kg (O kg) 変動無し
- 2 都道府県値 前年から変動した都道府県は以下の9道県である。
 - 〇増加した道県(9道県)

北海道(+2kg)、青森県(+1kg)、岩手県(+1kg)、

宮城県 (+1kg)、山形県 (+1kg)、福島県 (+1kg)、

千葉県 (+2kg)、神奈川県 (+1kg)、島根県 (+2kg)

平成30年産水稲の10 a 当たり平年収量

単位:kg

都道府県	平 年		Ē.	収		対前	単位·Kg				
	H 26	27	28	29	30 (案)	年差	主な生産事情				
北海道	537	539	541	546	548	2	収量水準が高い「ななつぼし」、「ふっくりんこ」及び「そらゆき」の作付割合の増加、成苗移植等高収量で安定的に生産する栽培技術の普及・定着等				
青 森	584	584	586	589	590	1	収量水準の高い地帯への作付割合が増加していること等				
岩 手	533	533	534	535	536	1	収量水準の高い「銀河のしずく」の作付割合が増加していること や収量水準の高い地帯への作付割合が増加していること等				
宮城	530	530	531	533	534	1	収量水準の高い「つや姫」の作付割合が増加していることや収量 水準の高い地帯の作付割合が増加していること等				
山形	594	595	595	595	596	1	収量水準の低い品種の作付割合の減少や収量水準の高い「つや 姫」等の作付割合が増加していること等				
福島	537	542	542	543	544	1	収量水準の高い「天のつぶ」の作付割合が増加していること等				
千 葉	535	535	535	538	540	2	比較的収量水準が高い「ふさこがね」、「ふさおとめ」の作付割 合の増加等				
神奈川	493	493	493	493	494	1	収量水準の高い「はるみ」の作付割合の増加等				
島根	509	509	509	509	511	2	収量水準の高い「きぬむすめ」及び「つや姫」の作付割合が増加 していることや収量水準の高い地帯の作付割合が増加していること 等				

機密性2情報 配布者限り

平成30年産水稲の全国及び都道府県別10 a 当たり平年収量 (案)

1 1.70mm基準ベース

2 農家等が使用しているふるい目幅ベース

単位: kg

				単位: kg
全 国	10a当たり	前年産	10a当たり	前年産
都道府県	平年収量	対 差	平年収量	対 差
全 国	532	0	519	1
北海道	548	2	532	2
青森	590	1	573	0
岩 手	536	1	522	0
宮城	534	1	520	1
秋田	573	0	554	\triangle 2
山形	596	1	580	0
福島	544	1	528	1
	524	0	515	0
栃木	540	0	528	\triangle 1
群馬	495	0	479	0
埼玉	490	0	476	1
千 葉	540	2	530	2
東京	414	0	404	0
神奈川	494	1	479	1
新潟	543	0	527	0
富山	540	0	527	0
石川	520	0	506	\triangle 1
福井	519	0	500	0
山 梨	547	0	533	0
長野	619	0	607	0
<u>英</u>	488	0	478	0
静岡	521	0	513	0
愛知	521 507	0	499	0
ラ ガ 三 重	500	0	489	0
· <u>二 里</u> 滋 賀	518	0	506	+
	510	0	500	0
京 都 大 阪	495	0	480	
兵	502	0	490 500	1
	513			0
和歌山	495	0	484	0
鳥取	514	0	504	0
島根	511	2	502	2
岡山	526	0	514	0
広 島	523	0	513	0 0
山口 一	504		492	+
徳島	474	0	469	0
香川	496	0	491	1
愛媛	498	0	493	1
高知	458	0	454	0
福岡	496	0	478	1
佐 賀	519	0	503	0
長崎	480	0	463	0
熊本	513	0	497	0
大分	502	0	480	0
宮崎	496	0	482	0
鹿児島	482	0	469	0
沖 縄 注:1 2の農家等	309 が使用している ふるい	り 日 に ベース と け 当 該 を	306 全国農業地域において	1 タノの曲字符

注:1 2の農家等が使用しているふるい目幅ベースとは、当該全国農業地域において多くの農家等が使用しているふるい目幅(北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm)で選別された玄米を基に算出した数値である。

² 平成30年産水稲の作柄表示地帯別10 a 当たり平年収量については、6月末頃を目途に決定する。